

四半期報告書

(第51期第2四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

MESCO

三井金属エンジニアリング株式会社

東京都墨田区錦糸三丁目2番1号

(E00303)

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報	1
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1
第2 事業の状況	2
1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3
第3 提出会社の状況	4
1 株式等の状況	4
(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	5
(7) 議決権の状況	6
2 役員の状況	6
第4 経理の状況	7
1 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
2 その他	16
第二部 提出会社の保証会社等の情報	17

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月11日
【四半期会計期間】	第51期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	三井金属エンジニアリング株式会社
【英訳名】	MESCO, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 住 伸一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区錦糸三丁目2番1号
【電話番号】	03-5610-7833
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部経理部長 木原 基廣
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区錦糸三丁目2番1号
【電話番号】	03-5610-7833
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部経理部長 木原 基廣
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第2四半期連結 累計期間	第51期 第2四半期連結 累計期間	第50期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（千円）	8,914,766	8,353,861	21,835,803
経常利益（千円）	171,764	194,958	1,118,553
四半期（当期）純利益（千円）	81,820	124,569	595,870
四半期包括利益又は包括利益（千円）	112,860	305,630	851,365
純資産額（千円）	9,320,755	10,032,695	10,059,260
総資産額（千円）	14,927,621	16,329,747	15,663,492
1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	6.40	9.75	46.64
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額	—	—	—
自己資本比率（％）	62.4	61.4	64.2
営業活動によるキャッシュ・フロー（千円）	△993,286	1,804,043	△1,602,138
投資活動によるキャッシュ・フロー（千円）	△90,062	△65,306	△182,393
財務活動によるキャッシュ・フロー（千円）	△319,301	△332,144	△320,323
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高（千円）	4,771,106	5,748,733	4,213,202

回次	第50期 第2四半期連結 会計期間	第51期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額（円）	8.27	14.32

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 「売上高」には、消費税等は含まれておりません。
3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額」については、潜在株式がないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当企業集団（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高を背景に、輸出の回復が生産の増加や企業収益の改善に繋がり、個人消費も緩やかに拡大するなど、景気回復の兆しが見られました。一方、米国経済は回復傾向にあるものの、欧州経済は引き続き低迷、中国等新興国の経済成長にも減速の動きが見られます。

建設業界におきましては、経済対策により公共投資は増加傾向にあり、また、民間設備投資の緩やかな回復もあり底堅く推移しておりますが、受注における厳しい価格競争が継続する経営環境にあります。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は8,353百万円（前年同四半期比6.3%減）となりました。

損益面では、工事原価の低減などから、営業利益163百万円（前年同四半期比17.8%増）、経常利益194百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。また、法人税等を調整した四半期純利益は、124百万円（前年同四半期比52.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

・エンジニアリング事業

非鉄金属プラントの完成が翌四半期以降へずれ込んだ事などにより、売上高は6,124百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。

また、損益は、経常利益451百万円（前年同四半期比74.1%増）となりました。

・パイプ・素材事業

パイプ部門におけるトンネル内消火配管等の減少、及び、素材部門における遮音、遮蔽材の出荷減などにより、売上高は2,241百万円（前年同四半期比14.0%減）となりました。

また、損益は、経常利益21百万円（前年同四半期比89.5%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが1,804百万円の資金の流入となり、投資活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フローがそれぞれ65百万円の資金の流出、332百万円の資金の流出となりました。

これに現金及び現金同等物に係る換算差額128百万円を加算した結果、資金は1,535百万円の増加となり、当第2四半期連結累計期間末の残高は5,748百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の主な増減は、未成工事支出金の増加に伴う資金の減少1,244百万円などがありましたが、売上債権の減少に伴う資金の増加2,988百万円、未成工事受入金の増加に伴う資金の増加295百万円などがあり、最終的に1,804百万円の資金の流入（前年同四半期 資金の流出993百万円）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の流出は65百万円（前年同四半期 資金の流出90百万円）となりました。

この主な流出は、有形固定資産取得による支出64百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の流出は332百万円（前年同四半期 資金の流出319百万円）となりました。

この主な流出は、配当金の支払331百万円であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当企業集団が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当企業集団の研究開発活動の総額は、21百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当企業集団の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000,000
計	32,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,780,000	12,780,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,780,000	12,780,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	12,780,000	—	1,085,350	—	684,400

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
三井金属鉱業株式会社	東京都品川区大崎一丁目11番1号	8,100	63.38
ROYAL BANK OF CANADA TRUST COMPANY (CAYMAN) LIMITED (常任代理人 立花証券株式会 社)	24 SHEDDEN ROAD PO BOX 1586 GEORGE TOWN GRAND CAYMAN KY1-1110 CAYMAN ISLANDS (東京都中央区日本橋小網町7番2号)	2,060	16.12
三井金属エンジニアリング社員 持株会	東京都墨田区錦糸三丁目2番1号	325	2.54
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1番2号	150	1.17
野村信託銀行株式会社 (信託 口)	東京都千代田区大手町二丁目2番2号	117	0.92
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	100	0.78
三井住友海上火災保険株式会社	東京都千代田区神田駿河台三丁目9番地	100	0.78
三井不動産株式会社	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号	100	0.78
松井茂樹	東京都三鷹市	70	0.55
田中但	福岡県みやま市	33	0.26
計	—	11,155	87.28

(注) 平成23年5月31日付(報告義務発生日は平成23年5月25日)にて、EFFISSIMO CAPITAL MANAGEMENT PTE LTDから株券等の大量保有に関する変更報告書が関東財務局長に提出されておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができないため、上記大株主の状況には反映させておりません。なお、株券等の大量保有に関する変更報告書の内容は以下のとおりです。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
EFFISSIMO CAPITAL MANAGEMENT PTE LTD	260 ORCHARD ROAD #12-06 THE HEEREN SINGAPORE 238855	1,934,000	15.13

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 3,000	—	単元株式数 1,000株
完全議決権株式 (その他)	普通株式 12,775,000	12,775	同上
単元未満株式	普通株式 2,000	—	—
発行済株式総数	12,780,000	—	—
総株主の議決権	—	12,775	—

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
三井金属エンジニアリング 株式会社	東京都墨田区錦糸 三丁目2番1号	3,000	—	3,000	0.02
計	—	3,000	—	3,000	0.02

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づき、同規則及び「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）により作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,762,750	2,176,627
受取手形・完成工事未収入金等	※1 6,865,218	※1 4,562,843
未成工事支出金	1,099,750	2,345,532
商品及び製品	140,519	155,792
材料貯蔵品	290,903	378,778
預け金	2,817,806	3,983,936
繰延税金資産	231,422	233,171
その他	230,146	291,908
貸倒引当金	△7,580	△4,916
流動資産合計	13,430,935	14,123,674
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	467,779	523,562
機械・運搬具	1,696,976	1,787,321
工具器具・備品	877,509	891,378
土地	1,099,000	1,099,000
リース資産	5,443	5,443
建設仮勘定	118,252	4,515
減価償却累計額	△2,667,891	△2,717,375
有形固定資産合計	1,597,069	1,593,846
無形固定資産		
ソフトウェア	62,732	51,084
その他	8,148	8,110
無形固定資産合計	70,880	59,194
投資その他の資産		
投資有価証券	58,926	61,837
繰延税金資産	324,106	309,005
その他	200,882	201,496
貸倒引当金	△19,308	△19,308
投資その他の資産合計	564,606	553,031
固定資産合計	2,232,556	2,206,072
資産合計	15,663,492	16,329,747

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,047,801	3,185,478
未払法人税等	340,986	73,740
未成工事受入金	136,889	1,109,307
賞与引当金	340,500	340,157
役員賞与引当金	27,000	—
完成工事補償引当金	106,700	92,000
工事損失引当金	57,300	64,200
その他	345,239	246,285
流動負債合計	4,402,416	5,111,169
固定負債		
退職給付引当金	1,101,600	1,107,998
役員退職慰労引当金	74,067	51,847
繰延税金負債	195	293
その他	25,952	25,743
固定負債合計	1,201,815	1,185,882
負債合計	5,604,231	6,297,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,085,350	1,085,350
資本剰余金	684,400	684,400
利益剰余金	8,475,074	8,267,448
自己株式	△2,083	△2,083
株主資本合計	10,242,740	10,035,114
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	43,137	40,784
為替換算調整勘定	△226,617	△43,203
その他の包括利益累計額合計	△183,480	△2,418
純資産合計	10,059,260	10,032,695
負債純資産合計	15,663,492	16,329,747

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高		
完成工事高	7,645,522	7,219,569
兼業事業売上高	1,269,244	1,134,291
売上高合計	※1 8,914,766	※1 8,353,861
売上原価		
完成工事原価	6,624,344	6,097,129
兼業事業売上原価	1,012,317	938,293
売上原価合計	7,636,662	7,035,422
売上総利益		
完成工事総利益	1,021,177	1,122,440
兼業事業総利益	256,926	195,998
売上総利益合計	1,278,104	1,318,438
販売費及び一般管理費	※2 1,139,020	※2 1,154,666
営業利益	139,084	163,772
営業外収益		
受取利息	33,462	27,381
持分法による投資利益	831	—
為替差益	—	2,520
雑収入	6,816	5,228
営業外収益合計	41,111	35,130
営業外費用		
支払利息	81	58
為替差損	7,203	—
持分法による投資損失	—	3,166
貸貸収入原価	565	387
雑支出	581	331
営業外費用合計	8,431	3,944
経常利益	171,764	194,958
特別利益		
固定資産売却益	650	—
特別利益合計	650	—
特別損失		
固定資産除却損	33,374	316
会員権評価損	3,145	—
特別損失合計	36,520	316
税金等調整前四半期純利益	135,893	194,642
法人税等	54,072	70,072
少数株主損益調整前四半期純利益	81,820	124,569
四半期純利益	81,820	124,569

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	81,820	124,569
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△1,409	△2,353
為替換算調整勘定	32,029	177,336
持分法適用会社に対する持分相当額	419	6,077
その他の包括利益合計	31,039	181,061
四半期包括利益	112,860	305,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,860	305,630

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	135,893	194,642
減価償却費	65,337	66,267
有形固定資産売却損益 (△は益)	△650	—
固定資産除却損	26,215	147
会員権評価損	3,145	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,194	△2,733
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,918	△342
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△3,800	△14,700
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,400	6,900
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△94,333	6,398
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△31,057	△22,220
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,000	△27,000
受取利息及び受取配当金	△33,462	△27,381
支払利息	81	58
為替差損益 (△は益)	2,157	△2,010
持分法による投資損益 (△は益)	△831	3,166
売上債権の増減額 (△は増加)	4,556,538	2,988,093
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△844,842	△1,244,874
その他のたな卸資産の増減額 (△は増加)	△65,585	△103,148
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,834,834	132,935
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△2,486,849	295,841
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	35,557	△56,410
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△65,120	△99,149
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	2,070	1,992
小計	△667,494	2,096,472
利息及び配当金の受取額	33,478	27,391
利息の支払額	△81	△58
法人税等の支払額	△359,187	△319,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	△993,286	1,804,043
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△94,746	△64,738
有形固定資産の売却による収入	650	—
無形固定資産の取得による支出	△400	△690
定期預金の預入による支出	△463	△293
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	4,897	414
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,062	△65,306
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△318,729	△331,573
リース債務の返済による支出	△571	△571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△319,301	△332,144
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,888	128,939
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,382,761	1,535,531
現金及び現金同等物の期首残高	6,153,868	4,213,202
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 4,771,106	* 5,748,733

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 四半期連結会計期間末満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	140,361千円	－千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

※1 当企業集団の通常の営業形態として第1、第2四半期に比べ第3、第4四半期における工事の割合が大きくなる傾向があるため、第2四半期連結累計期間の売上高は、第3、第4四半期連結累計期間の売上高と比べ著しく低くなっております。

※2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料手当	318,327千円	310,276千円
賞与引当金繰入額	125,608	129,651
退職給付引当金繰入額	4,826	14,627
役員退職慰労引当金繰入額	10,882	10,282
技術研究費	16,858	21,607

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金預金勘定	1,463,519千円	2,176,627千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△331,345	△411,829
預け金勘定	3,638,932	3,983,936
現金及び現金同等物	4,771,106	5,748,733

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	319,418	25.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	332,195	26.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	エンジニアリング事業	パイプ・素材事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,381,866	2,532,899	8,914,766
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,046	72,179	75,225
計	6,384,913	2,605,078	8,989,992
セグメント利益	259,389	201,037	460,427

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	460,427
全社費用(注)	△288,663
四半期連結損益計算書の経常利益	171,764

(注) 全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	エンジニアリング事業	パイプ・素材事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,119,371	2,234,489	8,353,861
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,381	6,607	11,988
計	6,124,752	2,241,097	8,365,850
セグメント利益	451,719	21,030	472,750

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	472,750
全社費用（注）	△277,791
四半期連結損益計算書の経常利益	194,958

（注）全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
1株当たり四半期純利益金額	6円40銭	9円75銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	81,820	124,569
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	81,820	124,569
普通株式の期中平均株式数（千株）	12,776	12,776

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

三井金属エンジニアリング株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村 弘巳 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中井 修 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三井金属エンジニアリング株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三井金属エンジニアリング株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。